

各 位

会社名 株式会社 山形しあわせ銀行  
 代表者名 取締役頭取 澤井 誠介  
 問合せ先 取締役経理部長 菅野 昌雄  
 (電話番号 023 - 631 - 0001)

## 四半期情報の開示について

当行の平成15年3月期第1四半期(平成14年4月1日から平成14年6月30日)における四半期情報について、お知らせします。

以下に掲げる四半期情報は、経済対策閣僚会議「改革先行プログラム」および金融庁「証券市場の構造改革プログラム」の趣旨等を踏まえ、当四半期から任意の会社情報として開示するものです。

(注) 以下に記載する数値は、未監査です。

### 1. 「金融再生法ベースのカテゴリーによる開示」(単体)

	(単位: 百万円)	(参考) (単位: 百万円)
	平成14年6月末	平成14年3月末(実績)
破産更生債権及びこれらに準ずる債権	8,838	7,195
危険債権	11,853	13,314
要管理債権	12,645	14,570

(注) 上記の平成14年6月末の計数は、「金融機能の再生のための緊急措置に関する法律施行規則」第4条に規定する各債権のカテゴリーにより分類しておりますが、集計方法については以下の点につき年度末に開示する計数とは異なるため、計数は連続しておりません。

1. 平成14年6月末の「破産更生債権及びこれらに準ずる債権」および「危険債権」の金額は、同年3月末時点における金額(債務者区分( )残高)をベースとし、同3月末から6月末までに倒産、不渡り等の客観的な事実ならびに行内格付けの引下げ等があった債務者について、当行の定める自己査定基準に基づき債務者区分の見直しを行い、債務者区分が下方に変更になったと認められる債務者に対する債権額を新たに加算、または「危険債権」を減額し「破産更生債権及びこれらに準ずる債権」を加算しております。

また、平成14年6月末については、償却・引当見込額、回収額および担保処分見込額等の四半期中の変動は勘案しておりません。

債務者区分との関係: 破産更生債権及びこれらに準ずる債権(実質破綻先、破綻先の債権)

危険債権(破綻懸念先の債権)

要管理債権(要注意先のうち、利払いが3か月以上延滞しているか、又は貸出条件を緩和している債権)

2. 平成14年6月末の「要管理債権」の金額は、同様に、同年3月末時点における金額をベースとし、同3月末から6月末の間に正常先、要注意先の債務者に対する債権のうち新たに3か月以上延滞となった債権、新たに貸出条件を緩和したことを確認している債権を加算し、「破産更生債権及びこれらに準ずる債権」および「危険債権」に変更になった金額を減算しております。

## 2. 自己資本比率（国内基準）

	平成14年9月末(予想値)
連結自己資本比率	7.0 %程度
連結Tier 比率	5.7 %程度

(参考)

	平成14年3月末(実績)
	6.84 %
	5.55 %

(注) 上記予想値は、経営環境に関する前提条件の変化等に伴い変動することがあります。

## 3. 時価のある有価証券の評価差額（単体）

評価差額

(単位：百万円)

	平成14年6月末			
	時価	評価差額	うち	
			益	損
その他有価証券	100,223	1,468	843	2,311
株式	3,671	461	100	562
債券	78,293	257	415	158
その他	18,258	1,263	327	1,590

(参考)

(単位：百万円)

	平成14年3月末			
	時価	評価差額	うち	
			益	損
	89,916	1,638	585	2,223
	3,450	108	92	200
	68,000	31	268	236
	18,465	1,561	224	1,786

(注) 1. 平成14年6月末の「評価差額」および「含み損益」は、平成14年6月末時点の帳簿価額（償却原価法適用前、減損処理前。）と時価との差額を計上しております。

2. なお、満期保有目的の債券、子会社・関連会社株式に係る含み損益は以下のとおりであります。

(単位：百万円)

	平成14年6月末			
	帳簿価額	含み損益	うち	
			益	損
満期保有目的の債券	5,845	39	12	51
子会社・関連会社株式	-	-	-	-

(参考)

(単位：百万円)

	平成14年3月末			
	帳簿価額	含み損益	うち	
			益	損
	4,002	70	-	70
	-	-	-	-

## 4. デリバティブ取引（単体）

### (1) 金利関連取引

該当ありません。

### (2) 通貨関連取引

(単位：百万円)

区分	種類	平成14年6月末		
		契約額等	時価	評価損益
店頭	通貨スワップ	-	-	-

(参考)

(単位：百万円)

	平成14年3月末		
	契約額等	時価	評価損益
	-	-	-

(注) 1. ヘッジ会計が適用されているデリバティブ取引及び下記注2.の取引は、上記記載から除いております。

2. 期間損益計算を行っている通貨スワップ取引の契約額等は、下記のとおりであります。

(単位：百万円)

種類	平成14年6月末		
	契約額等	時価	評価損益
通貨スワップ	6,778	526	526

(参考) (単位：百万円)

平成14年3月末		
契約額等	時価	評価損益
5,827	241	241

また、先物為替予約、通貨オプション等のうち、引き直しを行っている通貨関連のデリバティブ取引の契約額等は、下記のとおりであります。

(単位：百万円)

区分	種類	平成14年6月末
		契約額等
取引所	通貨先物	-
店頭	為替予約	111
	通貨オプション	-

(参考) (単位：百万円)

平成14年3月末	
契約額等	
	-
	24
	-

(3) 株式関連取引

該当ありません。

(4) 債券関連取引

該当ありません。

(5) 商品関連取引

該当ありません。

(6) その他

該当ありません。

5. 預金、貸出金残高(単体)

(単位：百万円)

		平成14年6月末
預金(未残)		607,306
	うち個人預金	462,249
貸出金(未残)		455,689
	うち住宅ローン	96,938

(参考) (単位：百万円)

		平成14年3月末
		620,906
		458,726
		476,390
		95,837

以上